

助け合いシステムの拡充による生産力の向上と担い手の定着 ～地域力UPで、家族の笑顔、仲間の笑顔がいっぱいあふれる ふる里をつくろう！～

十勝農業改良普及センター十勝南部支所 地域係

1 活動対象及び概要

幕別町忠類新生・豊成地区 7戸（TMRセンター構成員）

【生産概要】（一戸当たり）

生乳生産量：931（±467）t、経産牛頭数：92（±42）頭、就労者数：2.7（±1.0）人
飼養形態：フリーストール＋ミルクングパーラー：7戸（うち搾乳ロボット導入農家2戸）

2 背景・ねらい

（背景）

- ・TMRセンターと構成農場の共存共栄のためには、TMRの供給価格および品質を安定させることで乳牛の健康を増進することが大切。
- ・地域の酪農経営は労働時間が非常に長く、労働力の確保が大きな課題。一方、雇用に対する経営余力（農業所得）の確保が必要。
- ・「新規参入者を受け入れて地域を繁栄させたい。」という地域農業者からの声。

（ねらい）

Step1 地域の生産量維持・拡大と農業所得の確保

サイレージ用とうもろこしの栽培技術改善 飼料価格を意識した飼料給与設計 農場内の課題解決に向けた取組支援

（雇用にはお金が必要）

Step2 増える労働時間（労働力不足）への対応

（地域酪農ヘルパーの雇用など）新たな労働力補完システムの構築

Step3 新規参入者の定着

3 活動の経過

Step1 （農業所得の確保に向けた取組支援①） サイレージ用とうもろこし栽培技術改善



透排水性改善について提案



明渠補修を実施（実証圃に位置づけ）



目視



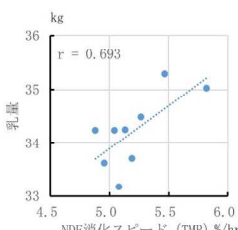
土壌水分計の設置



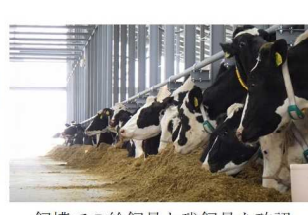
生育状況の空撮

（実証圃の）明渠補修による排水効果を確認

Step1 （農業所得の確保に向けた取組支援②） 飼料価格を意識した飼料給与設計



オペレーターとの連携



飼槽での給飼量と残飼量を確認（フィードバック）

情報共有

- ・「餌はいつこんな風に変えます！」など、餌の内容を情報共有。
- ・各農場の牛群の情報を農業者間で共有。

粗飼料の収穫調製作業に立ち合い原料草を確認 →（技術支援）

Step 1 (農業所得の確保に向けた取組支援③)
農場内の課題解決に向けた取組支援



牛舎設計について農業者・関係機関とともに協議



労働効率を考えた牛舎内レイアウトと作業順番を提案



新牛舎への移行

農場での活動（技術支援）事例



E農場を繁殖管理モデル農場に位置付け

※ **明確な繁殖目標**を示し、妊娠頭数の実績を農場内で**共有する**ことで**動機付け**につなげる。

4 活動の成果

透排水性改善実証圃のビフォー・アフター

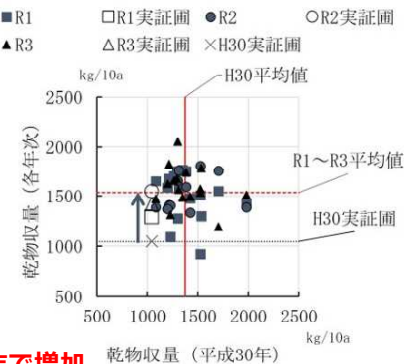


平成30年



令和3年

実証圃の収量は全圃場の平均レベルまで増加



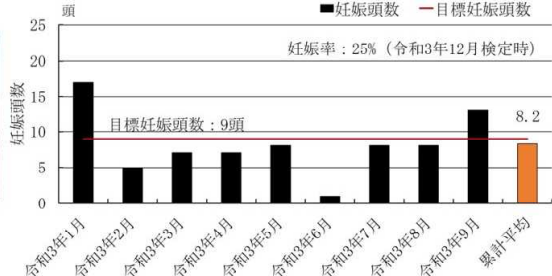
繁殖管理モデル農場(E農場)の繁殖成績と一頭当たり乳量の推移



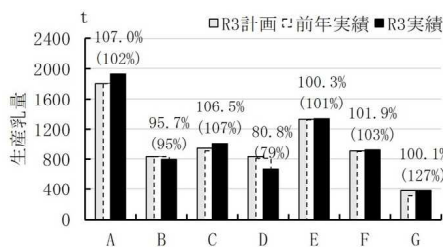
繁殖性が飛躍的に向上 (ほぼ目標妊娠頭数を確保)



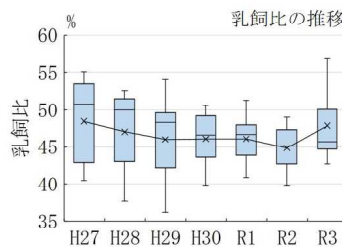
TAFシステム活用による繁殖管理



各農場の生乳生産量と乳飼比の推移



※表中の数字は計画乳量対比 (括弧内は実質手取乳代の前年対比)



令和3年度の活動まとめ

- ・地域の生乳生産量は増大。
- ・乳価の低下により実質手取乳代は横ばい。
- ・購入飼料価格の高騰などにより、乳飼比は上げ基調。
- ・農業所得は低下。

※労働補完システムに対する意識は低迷 ↓

5 今後の対応

- (1) 乳飼比を低下させるTMRセンターの取組や農場の所得確保に向けた取組を継続支援
- (2) 農業者の意向を尊重した新たな労働補完システム設立に向けた取組支援